

成果指標				
成果指標	伊予市老人クラブ育成補助事業事務			
指標設定の考え方	双海老人クラブは、28単位クラブ1, 520名の会員で事業を展開しており、加入率は高い。地域の高齢化が急速に進展している中で、地域をになう高齢者が元気で生き甲斐を感じられる活動を展開することが望まれる。そのためには単位クラブが予算の裏付けのもと事業内容の充実を図ることが大切である。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	28	28	28	28
実 績	28	68	89	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	グラウンドゴルフを自主的に行うところが増えるなど、高齢者の活動が活性化した一方、活動が困難な高齢者、職員等の説明の理解が困難な人が増えている。より一層、わかりやすい言葉で説明し、可能な限り一人一人に寄り添うような事業の進め方を行う必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	高齢者が地域で安心して暮らせるための諸施策である。介護保険サービスの利用に伴い介護支援専門員(ケアマネジャー)が利用者本人に代わって申請することができるようになり、安心感が増した。今後も事業内容の充実を図り高齢者が地域での生活を安心して継続できるよう取り組む必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題